

発見！白井の仕事人 40 〜農業の可能性を求めて〜 えびちゃん農園

今回は体験型貸農園を営んでいる「えびちゃん農園」の園主である海老原進さんを紹介します。



えびちゃん農園の畑の様子

また、野菜の直売も行っており、有機肥料で生育した野菜を買い取りピーターも多くいるとのことです。

海老原さんは、農業後継者の育成のために「千葉県指導農業士」に認証されていて、千葉県農業大学の生徒などの研修生を10人以上受け入れ、後継者育成にも尽力しています。



会員の皆さんに指導する海老原さん

えびちゃん農園は、市民農園促進法に基づく市内で初めての農園で、開園して今年で3年を迎えました。

一区画30平方メートルの農園を25区画貸し出し、月2回、指導農業士の海老原さんが講習会を行い指導をしています。

農具や資材などは農園に用意されているため会員の多くは手ぶらで来て、農作業を楽しんでいます。4月から2月までの契約期間で約30品目の野菜を収穫することができます。

海老原さんは、白井に根付く土着園を培養して発酵させた自家製の有機肥料を使って野菜を作っています。この肥料で収穫した野菜は味が違うといいます。

「えびちゃん農園」でも化学肥料は一切使わない、完全有機肥料で野菜を生育させています。

自家製の有機肥料を使った、安心安全でおいしい野菜を味わってみませんか。

農政課農政班 内線3252

発見！白井の仕事人 41 〜梨の「ジョイント栽培」を始めて〜 梨農家の川上達也さんと内藤裕貴さん

今回は市内でいち早く梨の「ジョイント栽培」という技法を取り入れた富塚地区在住の川上達也さんと谷田地区在住の内藤裕貴さんを紹介いたします。

2人は梨農家の担い手として両親と梨栽培を営んでおり、就農した2009（平成21）年に親から任せられた畑で、新しい栽培技術である「ジョイント栽培」のための梨の苗木を定植し、育苗・ジョイントの後、2013（平成25）年から収穫を始めています。



梨畑で作業をしている川上さん



笑顔でインタビューに応じる内藤さん

この技術は神奈川県で開発され特許を取っているため、この技術を使うには契約が必要となります。

2人とも「剪定や摘果作業が約半分から3分の2程度に減少し、収穫も一直線に動いて楽です。ただし、苗木が2〜3倍と多く必要になり、苗を育てるまでが大変で一番の課題です。これからジョイント栽培の面積を増やしていきたいと思っていますので、白井市梨業組合が開設した『しろいの梨育苗センター』を頼りにしています」と話してくれました。

ジョイント栽培により、県内1位の梨の産地である白井の梨の木が若返りと、作業の効率化による後継者の確保が進むことを願っています。

農政課農政班 内線3252

発見！白井の仕事人 42 〜祖父の代からぶどう栽培を続けて〜 白治園 伊藤治さん

今回は、市内7軒の栽培農家で構成している白井ぶどう組合組合長で、白井木戸地区で白治園を営んでいる伊藤治さんを紹介いたします。



ぶどう栽培をする伊藤さん

一つ一つの特性に合う栽培を心掛けています。また、直売所での販売をメインとしていることから「完熟したおいしいぶどう」を食べたい、ただこれにこだわりを持っていくそうです。

伊藤さんは「祖父が始めたぶどうを引き継いだ父が、一生懸命に栽培し、おいしいぶどうを提供してくれたおかげで良いお客さんがずっと買ってくれます。市のおふるさと納税の謝礼品としても扱ってもらい、新しいお客さんも増えてきています。ぜひ一度完熟したおいしいぶどうを味わってみてください」と話してくれました。



完熟したおいしいぶどうはいかがですか

祖父の代から続く白治園のさまざまな品種のぶどうを味わってみませんか。

ブドウの直売は9月末頃まで行っています。

白治園 ☎（491）0865、農政課農政班 内線3252